

# 人工知能未来農業創造プロジェクトの採択課題一覧

概要等は提案書に基づいて作成していますので、今後変更される可能性があります。

対象分野	公募課題	採択課題の概要		
		研究課題名	研究代表機関	概要
畜産・酪農	AIを活用した家畜疾病の早期発見技術の開発	AIを活用した呼吸器病・消化器病・周産期疾病の早期発見技術の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究部門	センサーとAIを活用して牛の疾病を早期発見し、死傷事故を防止する技術を開発
畜産・酪農	AIやICT技術を活用した周年親子放牧による収益性が高く低コストな子牛生産技術の開発	AIやICTを活用した周年親子放牧による収益性の高い子牛生産技術の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門	AIを活用し、新規参入者による放牧牛の繁殖管理を容易にし、低コストな子牛生産を可能とする技術を開発
畜産・酪農	乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発	乳用牛の泌乳平準化とAIの活用による健全性向上技術の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	AIを活用して乳牛の体調変化を早期に検出し、乳牛の健康管理を可能とする技術を開発
畜産・酪農	AIを活用したロボット技術等による牧草生産の省力化・自動化技術の開発	AI(人工知能)を活用した牧草生産の省力化・自動化技術の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター	AIを活用し、空撮画像に基づく牧草の適期収穫や収穫作業等の自動化を可能とする技術を開発
園芸	AIを活用した施設野菜収穫ロボット技術の開発	AIとRTを活用した施設野菜収穫における労働ピーク削減化技術の開発	パナソニック株式会社	AIを活用し、収穫作業を大幅に省力化できるトマト収穫ロボットを開発
園芸	AIを活用した露地野菜収穫ロボット技術の開発	露地野菜の集荷までのロボット化・自動化による省力体系の構築	学校法人立命館 立命館大学	AIを活用し、キャベツなど露地野菜の収穫・集荷等を大幅に省力化できるロボット作業体系を開発
園芸	AIを活用した果実収穫ロボット技術の開発	果実生産の大幅な省力化に向けた作業用機械の自動化・ロボット化と機械化樹形の開発	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門	AIを活用した果実の収穫ロボットを開発するとともに、ロボット作業にマッチする樹形を開発し、収穫作業の省力化を実現